

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

【文部科学省 B P 認定・履修証明プログラム】

P A L 育成講座（生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム）

令和 6 年度 募集要項

Ver. 1.2

申込受付期間： 令和 6 年 9 月 9 日（月）まで

P8 曜日誤記修正しました。

受講資格審査面接： 必要な受講者には個別に連絡します。

受講者発表： E-mailにて事前に連絡します。

受講期間： 令和 6 年 1 0 月 ～ 令和 7 年 2 月

対面授業場所： 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター

PAL 育成講座の受講生は、岐阜大学の科目等履修生として大学アカウントが付与されます。受講生所属企業には「特別枠」が付与され、他従業員も利用できます。詳細は次ページ参照。修了者には履修証明書・認定証書を学長名にて交付します。また大学院 4 単位が得られます。

令和 6 年 11 月 21 日（木）


岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター

PAL育成講座 と PAL短期集中コース

PAL育成講座： 座学・演習・討論・実習・発表からなる「製造業」総合講座（合計 77時間）

PAL育成講座受講生の所属企業は「特別枠」が付与され、他の従業員も利用できます。

PAL短期集中コース： PAL育成講座 座学科目の中から 好みの個別科目を1科目毎に申込・受講できる講座

募集カテゴリー	受講枠	受講料	PALサイバー空間利用権限		修了証書 単位	
			後日録画視聴	展示会参加		
PAL育成講座 受講生所属企業 「特別枠」	 岐阜大学 PAL 育成講座 <small>Brush up Program for professional</small> 【定員 15名】	全科目 (77時間) 大学IDで受講 座学・演習 実習・発表	25万円/人 岐阜県減免 12.5万円/人	○	○	○ 学長名で交付 修了証書 大学院4単位
	PAL短期集中コース 「特別枠」 【定員無】	座学9科目まで	無料	○	○	×
一般企業 「一般枠」	PAL短期集中コース 「一般枠」 【定員無】	座学4科目まで	無料	×	×	×

PAL育成講座受講生と学生による業務改善展示会

日程：R7年1月予定

企業間で語ろう、学生と語ろう！！ 企業の業務改善成功体験（我社の改善事例、会社紹介、我社の未来）



航空宇宙生産技術開発センター外観



展示会場ブースの様子



資料を展示説明する様子



展示会説明員の集合写真

1. P A L 育成講座（生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム）の目的と意義

日本の国力を担う中堅・中小「製造業」は、21世紀の業容変革をリードできる優秀な若手育成が求められています。そこで、東海地方とりわけ岐阜県製造業の、30歳前後 原則大卒以上の若手リーダー、将来の幹部候補を対象に、以下を養成すべく本プログラムを開講します。

- ① 俯瞰的な視野で実務を推進できる能力 ② 将来構想を立案できる能力

2. プログラムの概要と科目構成

座学・討論・実習を通じた総合的・実践的な学びにより、第4次産業革命時代のリーダーとしての能力を養います。自由選択科目と必須科目を含む総時間数は72.5時間、必須科目は62時間です。各年度の後期開講（10月～3月）します。

座学： 経営、コスト・原価、品質、設計思想、D X（コンピュータ、IoT、AI）
多方向討論と実習： 航空生産技術をモチーフにして、工程設計を実習
多方向討論と課題発表： 自分の未来産業ビジョンを形成して発表

3. 社会人リカレントプログラムとしての認定や指定

岐阜大学 履修証明プログラム、文科省職業実践力育成プログラム（B P）認定
 厚労省教育訓練給付制度指定(予定)

履修証明プログラムとは

平成 19 年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。大学等において、通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。各大学等において、社会人等の多様なニーズに応じた様々な分野の学習機会が積極的に提供されることが期待されています。

4. 募集人数

- ・15人（岐阜大学航空宇宙生産技術開発センターでの対面受講の人数）

5. 受講料

- ・25万円

（岐阜県に事業所を設置している企業の勤務者は、受講料の半額が減免され 12.5万円 となります。）

- ・厚労省給付制度（職業実践力育成プログラム）が利用できる場合がありますので、生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局までお問合せください。

6. 受講申請資格

岐阜大学大学院自然科学技術研究科の履修証明プログラムとして実施されるため、申請者は下記の①～⑧のいずれかに該当する必要があります。

①日本の大学を卒業した者

②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）

を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑦文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

⑧短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校及び各種学校等を卒業した技術者で、本研究科において、個別の受講資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※⑧に該当する申請者については、別途、資格審査（面接）を実施します。面接時間等は個別に連絡します。

7. 受講申込手続 **日程更新しました。**

- (1) 申込方法 令和 6年9月9日(月)までに、①②を提出してください。
令和 6年9月23日(月)までに、③④を提出してください。
尚、提出期限に遅れる可能性がある場合は事務局にご相談ください。

(2) 提出物

提出物を簡略化しました。

提出物	注意事項	提出方法
①-1受講申込書(Excel)	写真データ貼付のこと。写真は3ヶ月以内撮影・上半身・無帽・正面向きのものとしてください。	メールにてご提出ください。 ※添付ファイルはパスワード付としてください。
①-2受講申込書(PDF)	①-1の押印版	
②写真	①-1に貼付する元データ	
③類型該当生の自己申告書(word)	—	
④最終出身学校の卒業(修了)証明書	学位記の写しは不可。	郵送またはメールに添付

- (3) 申込先 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター
生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局
E-mail: ipteca-recurrent@t.gifu-u.ac.jp

- (4) 受付結果 本人宛にE-mailで連絡します。面接が必要な場合はオンラインで行います。

8. 個人情報の取扱い

提出された申請書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、審査システムに登録されますが、申請書等及び登録された個人情報は、岐阜大学工学部、航空宇宙生産技術開発センターが責任を持って管理します。受講資格審査終了後は、この個人情報を次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、第三者に開示することはありません。①合格者について、受講手続に必要なデータを使用する場合、②受講者について、カリキュラム登録、成績管理等、本人が受講するうえで必要な事務にデータを使用する場合、③受講者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合（ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合、個人識別ができない状態で行います）

9. 問い合わせ先

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター
生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム事務局
E-mail: ipteca-recurrent@t.gifu-u.ac.jp

[社会人向け教育プログラム（リカレント教育プログラム） - 航空宇宙生産技術開発センター | 東海国立大学機構 \(gifu-u.ac.jp\)](#)

10. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う本学の対応について、下記をご覧ください。

[令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う本学の対応について | 重要なお知らせ | 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 \(gifu-u.ac.jp\)](#)

分類	科目名	授業の形式	日程	講師氏名（現在の所属）【実務経験年数】	時間数 (h)	狙い
必修	導入ガイダンス	対面	10月2日(水) 10:30-12:00	石原秀昭（センター特任教授）【デンソー 39年間】	1.5	カリキュラムの位置づけを説明し、双方向議論で受講生を動機付けする。
				田村純一（川崎重工業）【川崎重工業 30年間以上】		航空機の機体製造で求められる生産技術を学び、各単元との関連を理解する。
自由選択	経営の基礎	対面 + サイバー空間	12月6日(金) 10:30-12:00	伊藤義人（ビジネス・ローンチアウト）【デンソー 40年間以上】	1.5	前編：経営とは何か、その本質について学ぶ。
		対面 + サイバー空間	12月6日(金) 13:00-14:30	石原秀昭（センター特任教授）【デンソー 39年間】	1.5	後編：業界（航空・自動車・電気）を俯瞰しつつ、リーダーとして体得してほしい経営の事例を学ぶ。
自由選択	コストの基礎	対面 + サイバー空間	12月12日(木) 10:30-12:00	皆川一 二（ワンツテクノ）【デンソー 30年間以上】	1.5	製造業におけるコストの基礎・原価の基礎について体系的に学ぶ。
必修	品質の基礎	対面 + サイバー空間	12月5日(木) 13:00-16:15	津嶋輝好（センター特任教授）【川崎重工業 32年間、日本飛行機 7年間】	3	製造業における 経営からみた品質マネジメントの本質について体系的に学ぶ。
自由選択	製品の設計思想	対面 + サイバー空間	12月12日(木) 13:00-16:15	川添博光（前センター特任教授）【豊田中央研究所 13年間、名大、鳥取大】	3	移動手段が異なる「航空機」と「自動車」を例にとり、空気力学の観点から、その形状に至る必然性、設計思想の違いを学ぶ。
自由選択	製造業DX：コンピュータ	対面 + サイバー空間	12月6日(金) 14:45-16:15	石原秀昭（センター特任教授）【デンソー 39年間】	1.5	製造業を変革するDXとして、コンピュータの基礎と産業応用について学ぶ。
自由選択	製造業DX：IoT	対面 + サイバー空間	12月5日(木) 10:30-12:00	松下 光次郎（岐阜大学工学部准教授）	1.5	製造業を変革するDXとして、製造におけるIoT, Cyber-Physical Systems, Digital Twin について体系的に学ぶ。
必修	製造業DX：人工知能	サイバー空間	12月23日(月) 13:00-14:30	曜日誤記修正 小野田 崇（青山学院大学理工学部教授）	1.5	前編：製造業を変革するDXとして、製造における人工知能（製造業における機械学習）について体系的に学ぶ。
			12月23日(月) 14:45-18:00	曜日誤記修正 林 良和（センター特任准教授）	3	後編：製造業を変革するDXとして、製造における人工知能（深層学習の基礎、深層学習を使った応用）について体系的に学ぶ。
自由選択	航空機開発の流れ	対面 + サイバー空間	12月19日(木) 10:30-12:00	高橋 晃作（川崎重工業）【デンソー 10年間以上】	1.5	航空機開発の全容（設計、生産、品質保証）を概観する。
自由選択	航空機装備品の生産技術	対面 + サイバー空間	12月19日(木) 13:00-14:30	久保 和彦（ナブテスコ）【ナブテスコ 10年間以上】	1.5	航空機の装備品製造における現状の課題と将来展開について学ぶ。
			12月19日(木) 14:45-16:15	福井 淳（ナブテスコ）【ナブテスコ 10年間以上】	1.5	フライトコントロールシステムの基盤である油圧アクチュエータについて学ぶ。
必修	製造技術特論	対面のみの日有 対面 + サイバー空間 (グループワーク) (実習・多方向討論)	10月 2日(水) 13:00-17:30 対面 Aグループの人のみ参加 10月 3日(木) 9:30-17:00 対面 Aグループの人のみ参加 10月31日(木)13:00-17:30 対面 Bグループの人のみ参加 11月 1日(金) 9:30-17:00 対面 Bグループの人のみ参加 10月10日(木) 9:30-17:00 対面 +サイバー空間 10月17日(木) 9:30-17:00 対面 +サイバー空間 10月24日(木) 9:30-17:00 対面 +サイバー空間 11月 7日(木) 9:30-17:00 対面 11月14日(木) 9:30-17:00 対面 +サイバー空間 11月21日(木) 9:30-17:00 対面	平工忠史（川崎重工業、センター特任准教授）【川崎重工業20年間以上】他	50	工程計画を立案し、装置を動かし、ロボット、PLC、QCD工程表を使って問題改善を行い、模型飛行機自動組立装置の工程設計を体験学習する。
必修	未来産業ビジョン形成	対面 (多方向討論・課題発表)	受講生上司が参加講評予定。上司都合を調整して日程決定します。 (仮) 2月14日(金)13:00-16:15	石原秀昭（センター特任教授）【デンソー 39年間】	3	学んだ 座学 や 実習、及び自分のポジションや経験を繋ぎ合わせて、10～15年後の日本の産業界の姿を予測し、社会人リーダーとしてやるべきビジョンをまとめて討論・発表する。
総時間数（内数は必修）					77	(必須時間数 62)

(注1) センターとは、岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センターを指します。

(注2) 対面授業は、センター内のセミナー・エリアで行います。

(注3) 履修証明講座を応募し、全必修科目を合格して必要事項を満足した人は、岐阜大学長名で「履修証明書」「認定証書」が交付されます。また、岐阜大学大学院修士課程の4単位が得られます。

(注4) PAL短期集中コースは、12月開講分の座学科目をピックアップして単一科目から受講出来る様にしました。詳しくはPAL短期集中コース募集要項をご覧ください。

(注5) 講師の都合により日程が変更になる場合があります。

(注6) 製造技術特論のロボット実習は2グループで実施し、いずれかに参加となります。Aグループの人のみ参加（10月2日(水)と10月3日(木)） or Bグループの人のみ参加（10月31日(木)と11月1日(金)）

(注7) 対面参加が出来ない場合は、Teamsオンライン参加可能です。また、PAL 育成講座サイバー空間（メタバース空間）活用により、オンデマンド受講（録画受講）、グループワーク、講師・受講者間の多方向討論を活発化します。

(注8) 10月以降の全ての授業に対して、業務都合で欠席した社会人受講生には、サイバー空間（メタバース空間）の仕組みを活用して、講座最終日（2月中下旬）までにオンデマンド受講他の補講を行い修了までサポートいたします。

成績評価の方法（合格基準）と 受講効果の把握

科目名	成績評価の方法（合格基準）
導入ガイダンス	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
経営の基礎	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
コストの基礎	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
品質の基礎	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
製品の設計思想	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
製造業DX：コンピュータ	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
製造業DX：IoT	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
製造業DX：人工知能	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
航空機開発の流れ	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
航空機装備品の生産技術	課題レポートによる評価。課題レポートが100点満点で60点以上を合格とする。
製造技術特論	個人課題に対するレポートの内容やグループ課題への取り組み姿勢、課題発表の内容から総合的に判断する。 総合評価が100点満点で60点以上を合格とする。
未来産業ビジョン形成	討論・ビジョン発表を評価する。講座の修了発表に該当する。 100点満点で60点以上を合格とする。

受講効果の把握のため、受講生と所属企業管理層に対し、アンケートを実施する。

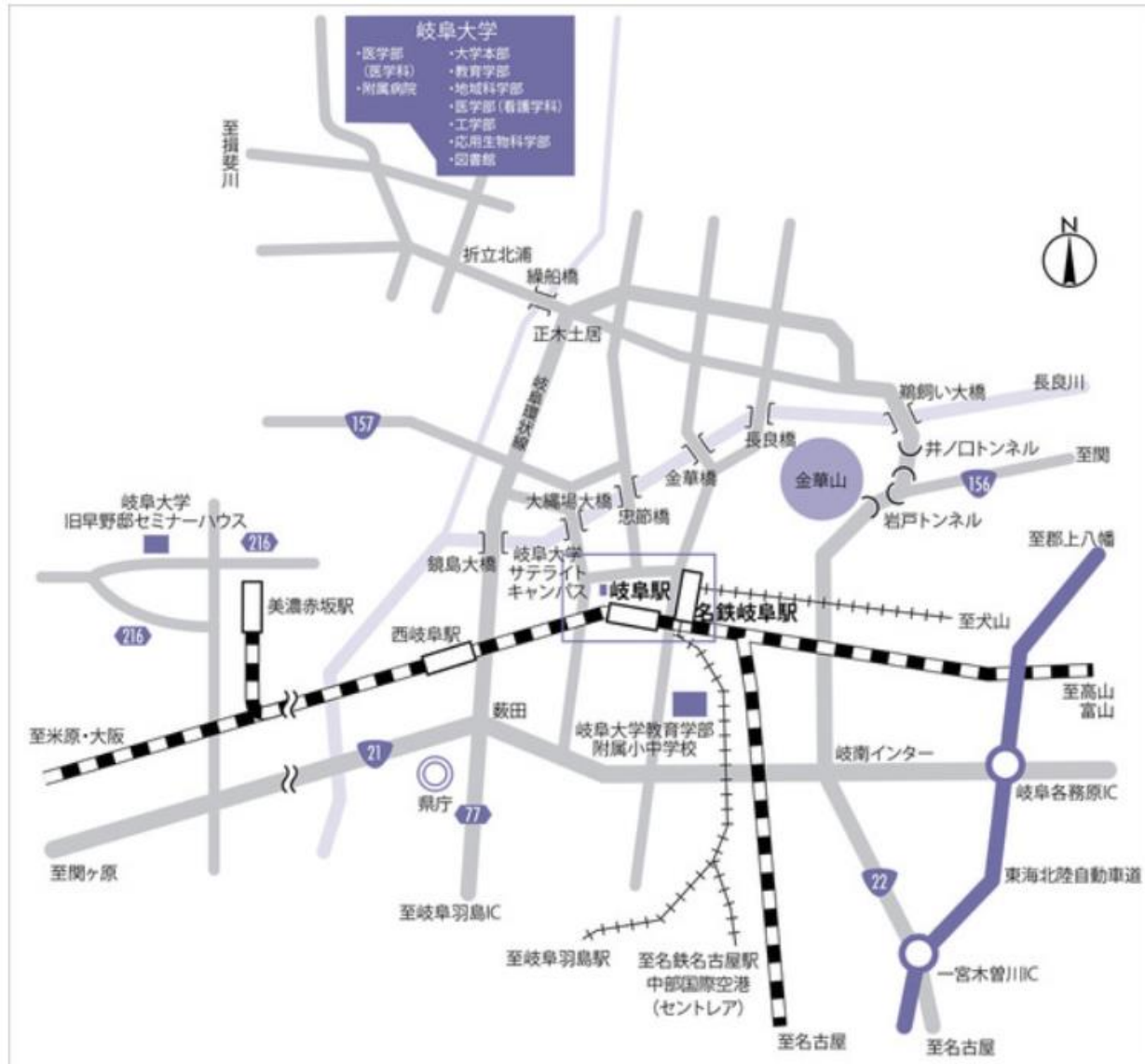
製造技術特論（50時間の講義・双方向討論・実習）

- 電動模型飛行機の自動組立ライン装置を活用して、工程管理・工程設計の講義と実習、ロボット操作やPLCのプログラミング演習
- 社会人・学生混成グループ、あるいは社会人グループによる討論や協同作業



会場アクセス

交通アクセス | 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 (gifu-u.ac.jp)



会場アクセス

